

# 全国学力・学習状況調査の結果分析と活用について

4月に行いました「全国学力・学習状況調査」の結果につきましては、9月に文部科学省より送られてきた個人票を配付させていただきました。

本校では、その結果を受け、児童の学力や学習状況について分析しました。下に記述した内容はその概略です。 ○良かった点 ●課題が残った点

## 1 国語に関する調査の結果から

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む問題や、漢字を書く問題は、多くの児童ができていました。
- 立場や根拠をはっきりさせて、質問や意見を述べるのが苦手な児童が大変多くいました。
- 物語の登場人物の相互関係を捉えたり、詩の解釈の着眼点の違いを捉えたりするなどの、読む内容の問題を苦手とする児童が多いです。
- 全体的に、基礎的・基本的な知識や技能を活用することが苦手な児童が多くいました。

## 2 算数に関する調査の結果から

- 整数、小数、分数の四則計算や数量の関係などの基礎的な内容について、多くの児童が理解することができていました。
- 示された直方体の体積や円周の長さを求めることは、多くの児童が理解することができていました。
- 1㎡あたりの人数を求める、単位量当たりの数（人数など）を求める問題に課題が残りました。
- 示された情報を基に必要な量と残りの大きさを判断し、その理由を言葉と数を用いて記述することが苦手な児童が多くいました。

## 3 質問紙調査の結果から

- 「朝食を毎日食べている」児童が多いですが、起床・就寝時間は不規則な傾向にあります。
- 「将来の夢や目標をもっている」児童が多くいました。
- 「新聞を読んでいる」児童の割合が高かったです。
- インターネットを活用した調べ学習に取り組んだ経験がある児童が多く、さらに、授業場面での学習の振り返りが多くなされました。
- 「家で、学校の宿題をしている」児童の割合が、とても高かったです。
- テレビを見たり、ゲームをしたりする時間が長い傾向にあります。
- 予習や復習をしている児童が少なかったです。

今回の調査結果を南小全職員で共通理解し、今後の指導方法の改善に生かしていきたいと考えています。ご家庭でも、9月に配付した個人票と合わせて、今後の参考にしていただけたらと思います。